

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公表番号】特表2017-513604(P2017-513604A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-563781(P2016-563781)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0215 (2006.01)

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

A 6 1 B 5/026 (2006.01)

A 6 1 B 8/12 (2006.01)

A 6 1 B 8/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 6 1 0 Z

A 6 1 M 25/09 5 0 0

A 6 1 M 25/09 5 5 0

A 6 1 B 5/02 8 0 0 Z

A 6 1 B 8/12

A 6 1 B 8/06

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月16日(2018.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

近位芯部材及び少なくとも 1 つの近位電気導体を有する近位部分であって、前記近位芯部材の遠位セクションは第 1 の係合構造を含む、近位部分と、

前記近位部分に結合される遠位部分であって、前記遠位部分は、遠位芯部材、センシング要素、及び、前記センシング要素に結合される少なくとも 1 つの遠位電気導体を有する、遠位部分とを有し、

前記遠位芯部材の近位セクションは、前記第 2 の係合構造により前記近位芯部材の前記第 1 の係合構造に係合される第 2 の係合構造を含み、

前記少なくとも 1 つの遠位電気導体は、前記少なくとも 1 つの近位電気導体が前記センシング要素と電気通信状態になるように前記少なくとも 1 つの近位電気導体に結合され、

前記第 1 及び第 2 の係合構造周辺に配置されるチューブ状部材を更に有する、センシングガイドワイヤ。

【請求項 2】

前記センシング要素は、圧力センサ及び / 又はフローセンサである、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 3】

前記チューブ状部材は、ハイポチューブである、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 4】

前記ハイポチューブは、少なくとも 1 つの平面を含む、請求項 3 に記載のセンシングガ

イドワイヤ。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの遠位電気導体は、前記ハイボチューブの前記少なくとも 1 つの平面に沿って延在する、請求項 4 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 6】

前記ハイボチューブは、2 つの平面を含み、

前記少なくとも 1 つの遠位電気導体は、2 つの導体を含み、

前記 2 つの遠位電気導体は、前記ハイボチューブの 2 つの平面に沿って延在する、請求項 4 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 7】

前記遠位芯部材は、前記近位芯部材が前記センシング要素と電気通信状態にあるように、前記センシング要素及び前記近位芯部材に電氣的に結合される、請求項 6 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 8】

前記近位芯部材及び前記遠位芯部材の各々は、304V ステンレス鋼、ニチノール、NiTiCo 及び MP35N のうち少なくとも 1 つで形成される、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 9】

前記遠位芯部材は、前記近位芯部材とは異なる材料で形成される、請求項 8 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 10】

前記第 1 の係合構造は、前記第 2 の係合構造の平面と係合される平面を含む、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 11】

前記第 1 の係合構造は、前記第 2 の係合構造の凹部と係合される凸部を含む、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 12】

前記遠位部分は、前記センシング要素の近位の第 1 のフレキシブルな要素及び前記センシング要素の遠位の第 2 のフレキシブルな要素を含む、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 13】

前記第 1 のフレキシブルな要素及び / 又は前記第 2 のフレキシブルな要素は、コイル及びポリマーチュービングのうち少なくとも 1 つを含む、請求項 12 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 14】

少なくとも前記近位部分が前記遠位部分に結合される遷移領域に渡って延在する絶縁コーティングを更に有する、請求項 1 に記載のセンシングガイドワイヤ。

【請求項 15】

センシングガイドワイヤを形成する方法であって、

近位芯部材及び少なくとも 1 つの近位電気導体を有する近位部分を設けるステップであって、前記近位芯部材の遠位セクションは第 1 の係合構造を含む、ステップと、

遠位芯部材、センシング要素、及び、前記センシング要素に結合される少なくとも 1 つの遠位電気導体を有する遠位部分を設けるステップであって、前記遠位芯部材の近位セクションは第 2 の係合構造を含む、ステップと、

前記近位部分を前記遠位部分に結合するステップとを有し、

前記結合するステップは、

前記近位芯部材を前記遠位芯部材に固定するステップであって、前記近位芯部材を前記遠位芯部材に固定することは、前記第 1 の係合構造を前記第 2 の係合構造と係合させることを含む、ステップと、

前記少なくとも 1 つの近位電気導体が前記センシング要素と電気通信状態になるように

、前記少なくとも 1 つの近位電気導体を前記少なくとも 1 つの遠位電気導体に電氣的に結合するステップとを有し、

前記近位部分を前記遠位部分に結合することは、チューブ状部材を係合された前記第 1 及び第 2 の係合構造のまわりに配置することを含む、方法。